

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		情報公開事務			事業コード	0007
担当課等	所属名	総務部 総務課		担当係名		
	課長名	総務部 総務課	担当者名	佐藤 雄一	電話番号	2632

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	信頼される質の高い行政	コード 8	施策	市民とともにつくる行政の実現	コード 3
	基本事業	分かりやすい行政情報の提供	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 2款 1項 1目 情報公開事務(001-04)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 平成13年度～)					
事務事業の概要	盛岡市情報公開条例に基づき、情報公開制度の適正な運用を図り、公正で透明な市政を推進する。					
根拠法令等	盛岡市情報公開条例					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
<p>行政運営に対する住民参加が促進され、更には住民の理解と信頼が確保され、公正で開かれた行政の推進が図られることを目的として平成元年に公文書公開条例を施行し、制度のより一層の充実を図るため、平成13年度に情報公開条例を施行した。</p>						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
特になし。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
営業行為目的と思われる行政文書開示請求や市外からの請求件数が増加している。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	①市民 ②市職員	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 市民の人数	単位	人
				B. 職員数	単位	人
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 市民が情報公開制度を利用する際の総合窓口として情報公開室を開設し、開示請求等の受理、請求方法の相談等を行った。 また、市が発行した各種資料を備え置き、市民への情報提供を行ったほか広報等を通じて情報公開制度の活用を周知した。 さらに、文書目録を公開するためのフォーム等の構築を行なったほか、平成21年度作成文書の点検を行なった。(23年1月から文書目録公開) 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 市民が情報公開制度を利用する際の総合窓口として情報公開室を開設し、開示請求等の受理、請求方法の相談等を行う。 また、市が発行した各種資料を備え置き、市民への情報提供を行うほか広報等を通じて情報公開制度の活用を周知する。 平成20年度、21年度、22年度の文書目録をホームページで公開する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 情報公開室開設日数	単位	日
				B. 広報等掲載回数	単位	回
				C. 文書主任会議(研修会)開催回数	単位	回
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	①知る権利の保障と市政への参加の促進 ②市民に対する説明責任の徹底	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 行政文書開示請求・本人情報開示申出件数 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単位	回
				B. 開示率=開示件数/(請求件数-不存在文書件数) 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	%
				C. 情報提供件数 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単位	回
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	行政が保有している情報を分かりやすく市民に提供する	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	開示請求及び情報提供件数(ホームページ新着情報件数含む)(単位:件)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	市民の人数	人	297,592	297,267	297,267	298,148	298,148	298,148	年度
対象 指標B	職員数	人	2,402	2,380	2,380	2,332	2,332	2,332	年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	情報公開室開設日数	日	243	243	241	241	241	241	年度
活動 指標B	広報等掲載回数	回	3	3	3	3	3	3	年度
活動 指標C	文書主任会議(研修会)開催回数	回	1	1	1	1	1	1	年度
成果 指標A	行政文書開示請求・本人情報開示申出件数	回	378	416	420	641	650	650	年度
成果 指標B	開示率=開示件数/(請求件数-不存在文書件数)	%	99	98	100	98	100	100	年度
成果 指標C	情報提供件数	回	1,106	1,031	1,100	565	600	600	年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	3,058	3,004	3,138	3,138	3,138	3,138	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	3,058	3,004	3,138	3,138	3,138	3,138	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④~⑧) (=A)	千円	3,058	3,004	3,138	3,138	3,138	3,138	*****
	延べ業務時間数	時間	1,315	1,453	1,500	1,800	1,800	1,800	*****
	職員人件費 (B) (臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	5,260	5,812	6,000	7,200	7,200	7,200	*****
	トータルコスト (A) + (B)	千円	8,318	8,816	9,138	10,338	10,338	10,338	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 市政情報を明らかにすることにより、市民の知る権利の保障と市政への参加の促進が図られ、市民に対する説明責任が徹底される。
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: ↳「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 市が保有する行政文書の件名をホームページ等で公表することにより、市民との情報の共有化が促進され、市政への参加が促進される。
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 市政情報を共有し、市政への参加を促すという制度の目的が達成されない。
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 国及び県等の情報公開事務 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 市政情報の公開は市の条例等に基づいて自ら実施しなければならないものである。
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 事業費は審査会の委員報酬、情報公開室の非常勤職員報酬、情報公開室の複写機使用料等であり削減できない。
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 開示請求件数が増えてきており、延べ時間数を削減することは難しい。
公平性評価	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 条例で、何人でも行政文書の開示請求ができることとされている。
	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 開示請求の手数料は無料とし、写しの交付の際は実費として1面10円を徴収している。行政文書の検索や開示の準備に手間がかかるため、人件費相当分の負担を求めるべきとの意見もあるが、開示請求を提出しにくくなることになるため、制度の趣旨(知る権利と市の説明責任)から、現時点では難しいと考える。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 文書管理システムやインターネットを活用し、市が保有している文書件名を公表するなど、情報公開の拡充を図っており、それを継続させる。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 開示請求が増えることにより職員の負担が増えることになるが、制度の趣旨について職員の理解を得られるよう文書主任会議などを通じて周知していく。 また、情報提供できる案件を増やし、開示請求書を提出しなくても公表するような仕組みについて広聴広報課等と連携を図る。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>情報開示請求件数の増加傾向が続いており、また、大量の請求もあり、公開室及び請求を受けた担当課の職員の業務量も増加している。</p>		
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 </td> <td> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>開示請求がなければ提供できない情報と開示請求を待たずに提供できる情報との区別を行い、その運用をしっかりと行う。</p>		<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携			